

## フィン分析表（ 版）

メーカー名 フィンの名前	Cressi-sub	硬さ	しなり	しなった後の 返りの速さ	少ない力発揮 下の推進力	最大努力下 での推進力	水面移動の しやすさ	フィンの屈 曲点	分析者の特性
Rondine GARA (gray blade)		3	3	3	3	3	3	3	男性 162cm/52kg
		3	3	3	3	3	3	3	男性 170cm/61kg
Rondine GARA 2000		3	5	2	4	2	4	1	男性 162cm/52kg
		3	4	2	3	3	4	2	男性 170cm/61kg
Rondine GARA 2000 HF		5	3	4	3	4	1	3	男性 170cm/61kg

フィンの屈曲点についてはフットポケットの方を1とし先端の方を5とする

### 分析者のコメント

Rondine GARA（以下GARA）は若干ですが硬いブレードで、しなりも返りの速さもバランスが良く、フットポケットも硬く深い作りになっています。このフィンは、水深の浅い所でも適当に遊ぶことが出来るし、-30m くらいでもしっかり働いてくれます。このことから、このフィン分析表では、現在廃版となりましたがGARA をひとつの基準として作製しました（という事で評価がすべて3なのです）。後継機種である2000 は、分析表では硬さはGARA と同じく3 とありますが、GARA より若干柔らかくなっており、さらにフットポケットも、人間の足型にマッチしたフィット感のすばらしいものに進化しました。しかしGARA に比べて、しなった後の返りが遅くなったため少し反応が鈍くなった感じがするのと、ポケットが浅く柔らかい作りになったため、-30m くらいから戻って来るときに少し頼りなさがあります。一方でブレードやポケットが柔らかくなったので、エントリーモデルとしては最適なフィンの一つであると考えられます。

本国イタリアのカatalogには、もう2000 の後継機種として2000LD というモデルが掲載されています。2000LD は、カatalogによると2000 よりも30% 柔らかく、20% 柔軟性（しなり）が増し、10% 長くなったとの事でした。ということは2000LD はさらにエントリーモデルとしてお奨めではないかと思えます。

2000HF については現在市場に出回っているフィンのなかでも最も硬いフィンの1つで「ultra stiff」とか「材木のように」とか巷では噂されます。しかしながらCressi-sub がサポートする著名なフリーダイバーの数多くが使用しています。硬さについては使用しているうちに慣れてきてあまり気にならなくなり、-30m 付近でのパフォーマンスも安定感や信頼感があります。力は要りますが、驚くほど速い速度で潜行もできます。ただ水面移動がしにくいので、潮流に流された時の事を考えると、安全のためビーチエントリーで使うのは泳力や体力に自信のある強者でないと厳しいかもしれません。フットポケットの形状は2000 や2000LD と全く同じですが、HF のほうは硬く仕上がっています。

メーカー名 フィンの名前	Mares	硬さ	しなり	しなった後の 返りの速さ	少ない力発揮 下の推進力	最大努力下 での推進力	水面移動の しやすさ	フィンの屈 曲点	分析者の特性
Attack		1	5	3	3	2	4	1	男性 180cm/72kg

フィンの屈曲点についてはフットポケットの方を1とし先端の方を5とする

### 分析者のコメント

水面移動は何の抵抗感も感じられないほどスムーズであり、しなりはフットポケット部から曲がる感じで驚異的なほどです。あまりにも根元からしなるため何も履いていない感じがします。2000 よりも女性には使いやすいと思われる。蹴りこみが楽すぎる反面、推進力が物足りない印象がありますが、特記すべきはやはり驚異的なまでの根元からの屈曲であり、根元以外の部位でのブレードのしなりはほとんど感じられません。このことより水深-30m以上取るような場合ではブレードが柔らかすぎると、戻ってくるのが大変かと思えます。もっと根元付近でのスナップの力強さがあればより完成度の高いブレードになると考えられます。

メーカー名 フィンの名前	Picasso	硬さ	しなり	しなった後の 返りの速さ	少ない力発揮 下の推進力	最大努力下 での推進力	水面移動の しやすさ	フィンの屈 曲点	分析者の特性
Black team (black blade)		4	3	3	3	4	2	3	男性 162cm/52kg

フィンの屈曲点についてはフットポケットの方を1とし先端の方を5とする

## 分析者のコメント

少し硬めのフィンなのですが、バランスがよく、-40m 付近における、かなりマイナス浮力の増加した環境からでも、しっかり帰ってこれることができます。フットポケットは甲高で、硬さのあるしっかりとした作りです。トータルなパフォーマンスを考えると、非常に高いレベルにあるフィンなので世界中に愛用者が多く、ベストフィンの1つとしてこのフィンを挙げるダイバーも多いです。GARA を使っていて少しだけ硬さが物足りないとか、-30m 以深でもっと力強い推進力が欲しいという方にはぴったりだと思います。

メーカー名 フィンの名前	OMER	フ	硬さ	しなり	しなった後の 返りの速さ	少ない力発揮 下の推進力	最大努力下 での推進力	水面移動の しやすさ	フィンの屈 曲点	分析者の特性
Rekord/Evolution		5	3	5	2	5	3	3	3	男性 162cm/52kg
		4	4	5	3	5	2	3	3	男性 170cm/61kg

フィンの屈曲点についてはフットポケットの方を1とし先端の方を5とする

## 分析者のコメント

Rekord/Evolution はblack team (black blade) よりもさらに硬いフィンなのですが、2000HF 程ではありません。フットポケットは硬く、カーボンのブレードは叩くとまるでプラスチックの水槽のようないかにも「壊れやすそう」な音がします。カーボンでできたブレードは壊れやすいと言われますが、解るような気がします。このフィンはしなったあとの返りの速さにはすばらしいものがあります。しかしながら、この返りの速さは思ったほどダイレクトに潜行速度に反映されません。-30m 付近からのアセントは、さすがにカーボンフィンらしい安心感のあるいい感じのパフォーマンスを発揮します(ちょっと太ももに疲労感を感じますが)。また価格が500\$と普通のフィンの2倍近く高価なのですが、それでは性能も2倍良いのかといえば、そうではないと思います。悪いフィンではないのですが、一般的なパフォーマンスを考えると、black team (black blade) と大差ないので、割り高感のするフィンであることは否めません。また若干の亜種が存在し、塩化ビニールでブレードがコーティングされているプロモデル等が存在します。OMER は90年代前半からカーボンフィンを作製していますが、初期のころに比べて現在のモデルは柔らかくなったそうです。

また分析表には載っていませんが、OMER にはTuna というシリーズがあります。これはblack team などと比べてしなりが少なく、「板きれ」のような感じがするのと、フットポケットの幅が狭いというのが難点であるとの情報があります。ちょっと扱うのが難しかなという印象をうけました。しかしながらヨーロッパでは広く一般的に販売されているフィンとの事です。

メーカー名 フィンの名前	Imersion	硬さ	しなり	しなった後の 返りの速さ	少ない力発揮 下の推進力	最大努力下 での推進力	水面移動の しやすさ	フィンの屈 曲点	分析者の特性
JB Esclapez aluminite (black blade)		2	5	2	5	2	4	1	男性 162cm/52kg
		2	5	2	5	3	4	1	男性 170cm/61kg

フィンの屈曲点についてはフットポケットの方を1とし先端の方を5とする

## 分析者のコメント

Imersion のフィンは、各メーカーを通じて最も柔らかく作られていると思います。Picasso やOMER のフィンとは違う種類のフィンという印象をうけます。JB Esclapez aluminite (black blade) も柔らかいのですが、効率的によくしなるので推進力も十分にあり、少ない力で良く進むフィンです。屈曲点がフットポケットに近く、根元から先端にかけて大きくしなります。したがってフィンのしなりを利用してソフトに潜行するダイビングスタイルの方にぴったりかと思えます。水面移動も楽で、長時間海で過ごすにも適しています。このような事からエントリーモデルとしても推薦できるフィンです。さらに-30m 付近からのアセントも硬いフィンに慣れた方は少しもどかしさを感じますが、それでも無難に働いてくれるとても万能なフィンです。フットポケットはポケット部分が大きいのですが、着脱は容易です。ちょっと踵のサポートが物足りない気がするのですが、踵に何らかの脱落防止を施して使用する方もいます。

aluminite はblack blade の他にgreen とblue があり、硬さはblack >green >blue となります。black で少し柔らかいという方はvioline というpurple blade のフィンがあります。硬くもなく柔らかくもない万能タイプというフィンらしく、おそらくGARA が2000と同じくらいの硬さだと思うのですが、GARA の硬さより多くのしなりを求めるならこのフィンではないかと思われそうです。さらに硬いモデルとしてNo-limit と呼ばれるものがあり、これはblack team に似ているフィンとの情報があります。

メーカー名 フィンの名前	Spora-sub	硬さ	しなり	しなった後の 返りの速さ	少ない力発揮 下の推進力	最大努力下 での推進力	水面移動の しやすさ	フィンの屈 曲点	分析者の特性
H Dessault (orange blade)		2	4	2	4	3	3	2	男性 180cm/72kg
H Dessault (black blade)		4	3	4	3	4	2	3	男性 180cm/72kg

フィンの屈曲点についてはフットポケットの方を1とし先端の方を5とする

## 分析者のコメント

orange blade の硬さはGARA より柔らかく、水面移動もストレスなく行えるため、このフィンは長時間の水中活動に適していると考えられます。フィンの屈曲点は根元付近であり、ブレードは素直に曲がります。GARA よりしなるものの、その分かえりが若干遅いのが気になりますが、女性やエントリーレベルの方でも十分に使いこなせると思います。-30m 付近でのパフォーマンスは、やや柔らかめなブレードがさらに柔軟になり、やや不安が残りました。したがってボトムでの安定感を考えると-20m 前後のフリーダイビングに適していると考えられます。フットポケットはかかとの部分を無理に引っ張ったり、長年の使用による劣化で裂けることがあるようです。また左右のポケットの大きさも微妙に違うのもや、同じサイズでも微妙な大小があるため、試し履きやフィンソックス等でサイズ調整を行う必要があるかもしれません。フットポケットは最新モデルでは改良されたため、最新モデルが先のような傾向があるかは不明です。

black blade はGARA と2000HF の中間あたりの硬さを持つフィンで、black team (black blade )よりは硬いというフィンです。ブレード自体の厚さも5mm ほどあり、水面移動はどちらかといえばやりづらい方です。硬いのですがしなりはGARA と同じくらいあるため、しっかり使うと耳抜きが追いつかないくらい早く潜行することができます。コシとかえりがしっかりしたフィンであるため、使いこなせば30m を越えるような潜水に十分使用できるモデルであると考えられます。一方で長時間の使用はかなり疲れると思いますので、あまりすすめられません。フィンの屈曲点はorange blade よりややフィンの先端側にあるようです。フットポケットは縁の部分がやわらかいため素足でも履きこなせ、なおかつ履く時ややきつい感じがしても、履いてしまうとフィットします。

H Dessault はorange ,black の他にgreen とblue があることが確認されています。Spora-sub も他のメーカーと同様に色によって硬さを分けているものと思われますが、例えばblack blade は現行モデルに比べて、以前に作られたものであるとそれほど硬くありません。ということで硬さの色分けについては現在調査中です。現行モデルでの硬さはblack > orange > green > blue となるようです。ちなみにblue のブレードはべろんべろんで、「したじき」のような感じがしました。さらにH Dessault はカーボンのブレードをもった radical というモデルがあり、欧米では広く使用され、人気も高く、驚くべき屈曲性を持っています(思いっきり手で曲げるとフィンの先端がフットポケットの踵の部分にくっつくくらい、けどあんまり無茶に曲げると割れますよ！いちおカーボンなので)。ちなみに300\$ 前後で販売されているようです。